

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳先生、鈴木昭二先生、高橋信行先生
氏名	木島拓海
学籍番号	1018239
クラス	c
配属時における学習目標は何でしたか。（複数回答可）	プロジェクトの進め方 複数のメンバーで行う共同作業 教員とのコミュニケーション 技術・知識の習得方法 技術・知識の応用方法 作業を楽しく行う方法 作業を効率よく行う方法 課題の設定方法 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	前期はのプロジェクトは全てオンラインであったためとても進めやすかったため教員とのコミュニケーションをしっかりと取れたかと聞かれるとなかなか難しいが、後期では実際に大学に行ってプロジェクトを行うと思うので率先にコミュニケーションを図っていきたいと思います。また、知識の習得に関しては、蔦屋書店にはロボット工作のものを買って習得した。応用に関しては前期中そこまで時間がなかったので進んでいない。また、google ジャムボードを用いていて意見交換を行うことで相互理解をしやすい形で行えたと思うし、課題解決をしやすかったと思う。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？	プロジェクトの進め方 複数のメンバーで行う共同作業 教員とのコミュニケーション

現時点（7月末）における学習目標を選択してください。（複数回答可）	技術・知識の習得方法 技術・知識の応用方法 作業を楽しく行う方法 作業を効率よく行う方法 課題の設定方法 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
（9の質問で学習目標が変化した学生） 学習目標が変わった理由は何ですか？（200文字以上）	
後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。（200文字以上）	実際にロボットのプロタイプを作っていくことで技術、知識を学びさらに Arduino などに応用できるように感えていく。さらに、CAD などを用いて問題点を探し課題を設定し解決方法を探していく。また、前期はオンラインだったが、後期からは大学に行って実際にプロジェクトができることが多くなると思うがそこで課題解決に向けてどのようなことをしていけば考え、わからなければ積極的に担当教員と課題解決に向けて議論していきたいと考えている。
前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。（自由記述 200 文字以上）	対面でなくオンラインということもあるが、個人的には積極的よりかなり受け身になりがちだった。個人の成果では蔦屋で購入した工作物を作れただけで大きな成果はあまりなかったと思う。プロジェクト全体としては、オンラインだけのやりとりだけだったがそれなりにうまく計画性や協調性を持ってできたと思います。オンラインではあったが、オンラインなりに google ジャムボードを使って意見交換を行ったりして、意見交換をわかりやすく伝えるために工夫しながらできたと思う。